



日本赤十字社熊本健康管理センター

概 要

当センターは、日本赤十字社の医療施設の中でも予防医療を専門に取り組む独立した施設です。

昭和 53 年の設立以来、“Health for All, All for Health”～すべての人に健康を、健康に全力を～”を基本理念として、常に最新の医療機器と専門スタッフを揃え、人間ドックをはじめとする生活習慣病健診やがん検診などの健康管理事業のほか、生活習慣病予防のための啓発や健康増進を目的とする健康支援事業、さらには外来診療事業に全力で取り組んできました。

新しい検査技術の開発や多様化する社会により、予防医療を取り巻く環境が大きく変化している中で、いつの時代も誰もが健康でありたいという想いは不変です。

当センターがこれまで培った知識と技術を業務に活かしながら、皆さまに「また受診したい」と思っただけよう、さらに質の高い予防医療サービスの提供に尽力して参ります。

基本理念

“Health for All, All for Health”

～すべての人に健康を、健康に全力を～

ビジョン

私たちの満ちあふれる人生のそばに。

基本方針

赤十字の使命を果たし、すべての人が健康で安心して暮らせる社会づくりに力を尽くします。

常に予防医療の質の向上に取り組み、安心・安全で信頼のおけるサービスの提供を行います。

予防医療を通して持続可能な社会貢献を行っていくために、最新の知見を取り入れ、安定した経営基盤を構築します。



組 織

■ 日本赤十字社熊本健康管理センター

- ・住所 〒861-8528 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
- ・設立 昭和53年4月1日
- ・施設長 所長 吉田 稔
- ・会計 令和6年度 決算額 3,534,706 千円
- ・沿革
 - 昭和47年 前身となる財団法人熊本県健康管理協会発足
 - 昭和53年 日本赤十字社熊本県支部診療所健康管理センター設立
業務を引継ぎ実施する
 - 平成5年 日本赤十字社熊本健康管理センターに改称
 - 平成9年 新館建設に伴い人間ドックコースの充実を図る
 - 平成17年 がん検診のためのPET-CT診断センター業務開始
～平成29年3月末をもって業務終了

- ・ホームページ <https://www.kenkan.gr.jp>



■ 職員数 合計 380 人 (令和7年4月現在)

職	常勤・嘱託	臨時・パート	計 (人)
医 師	13	10	23
診療放射線技師	21	2	23
臨床検査技師	62	3	65
管理栄養士	12	3	15
歯科衛生士	2	0	2
保健師	40	4	44
看護師	34	14	48
一般職(事務)	87	19	106
運動指導士	5	0	5
技術員・運転・ 調理・助手	19	26	45
マッサージ師	1	0	1
合 計	296	81	377



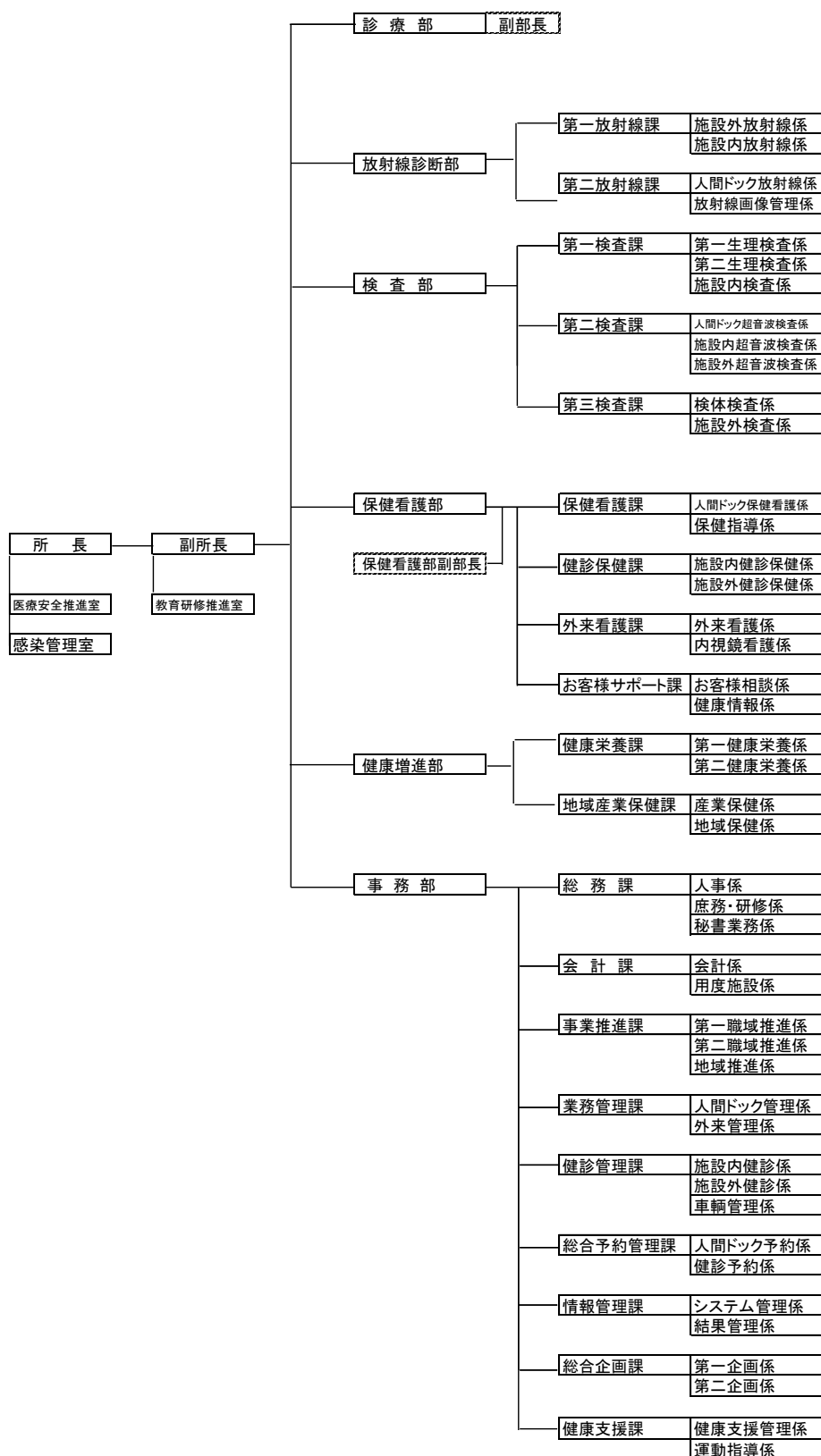
熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

■ 組織図

令和7年4月1日現在
6部20課45係





■ 資格・認定 (令和7年4月現在)
・医師

資格・認定	人数	資格・認定	人数
社会医学系指導医・専門医【社会医学系専門医協会】	2	肺がんCT検診認定医師 【肺がんCT検診認定機構】	1
日本産業衛生学会指導医【日本産業衛生学会】	2	放射線診断専門医【日本医学放射線学会】	1
労働衛生コンサルタント(保健衛生)【厚生労働省】	2	核医学専門医【日本核医学会】	1
産業医学ディプロマ【産業医科大学】	2	脳神経外科専門医【日本脳神経外科学会】	1
認定産業医【日本医師会】	8	産婦人科専門医【日本産科婦人科学会】	1
人間ドック健診指導医【日本人間ドック・予防医療学会】	3	婦人科腫瘍専門医【日本婦人科腫瘍学会】	1
人間ドック健診専門医 【日本人間ドック・予防医療学会】	4	血液専門医【日本血液学会】	1
日本人間ドック・予防医療学会認定医 【日本人間ドック・予防医療学会】	4	超音波指導医(消化器)・専門医【日本超音波医学会】	1
遺伝学的検査アドバイザー 【日本人間ドック・予防医療学会】	1	検診マンモグラフィ読影医師 【日本乳がん検診精度管理中央機構】	3
総合内科専門医【日本内科学会】	4	がん治療認定医【日本がん治療認定医機構】	2
内科専門医【日本内科学会】	1	がん薬物療法専門医【日本臨床腫瘍学会】	1
認定内科医【日本内科学会】	6	日本アレルギー学会指導医(内科) 【日本アレルギー学会】	1
循環器専門医【日本循環器学会】	1	結核・抗酸菌症指導医 【日本結核 非結核性抗酸菌症学会】	2
消化器病指導医【日本消化器病学会】	1	抗菌化学療法指導医【日本化学療法学会】	1
消化器病専門医【日本消化器病学会】	4	JMECCインストラクター【日本内科学会】	1
消化器内視鏡指導医【日本消化器内視鏡学会】	4	ICLSインストラクター【日本救急医学会】	1
消化器内視鏡専門医【日本消化器内視鏡学会】	5	日本抗加齢医学会専門医【日本抗加齢医学会】	1
消化器がん検診指導医・総合認定医 【日本消化器がん検診学会】	1	緩和医療認定医【日本緩和医療学会】	1
呼吸器指導医【日本呼吸器学会】	2	日本外科学会 認定登録医【日本外科学会】	1
呼吸器専門医【日本呼吸器学会】	3	CKD(慢性腎臓病)対策推進「病診連携医」【熊本市】	2
インフェクションコントロールドクター(日本呼吸器学会推薦) 【ICD 制度協議会】	2	肝臓病認定医 1 肺がん検診読影医師 3 肺がん一次検診総合判定医師 1 【熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会】	
気管支鏡専門医【日本呼吸器内視鏡学会】	1		
呼吸ケア指導士【日本呼吸ケア・リハビリテーション学会】	1		



熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

・医療職等（診療放射線技師 臨床検査技師 管理栄養士 保健師 看護師 事務）

資格・認定	人数	資格・認定	人数
胃がん検診専門技師【日本消化器がん検診学会】	7	超音波検査士 体表臓器領域【日本超音波医学会】	28
胃X線検診読影補助認定技師【日本消化器がん検診学会】	5	超音波検査士 消化器領域【日本超音波医学会】	30
肺がん CT 検診認定技師【肺がん CT 検診認定機構】	4	超音波検査士 泌尿器領域【日本超音波医学会】	20
検診マンモグラフィ撮影認定技師 【日本乳がん検診精度管理中央機構】	7	超音波検査士 健診領域【日本超音波医学会】	2
乳房超音波技術資格【日本乳がん検診精度管理中央機構】	3	超音波検査士 循環器領域【日本超音波医学会】	5
ピンクリボンアドバイザー【初級】【乳房健康研究会】	1	人間ドック健診情報管理指導士 【日本人間ドック・予防医療学会】	3
第1種放射線取扱主任者【原子力規制委員会】	1	産業カウンセラー【日本産業カウンセラー協会】	3
骨粗鬆症マネージャー【日本骨粗鬆症学会】	1	禁煙認定指導保健師・看護師【日本禁煙学会】	3
医療画像情報 精度管理士【日本診療放射線技師会】	3	消化器内視鏡技師【日本消化器内視鏡学会】	3
放射線管理士【日本診療放射線技師会】	2	糖尿病療養指導士 【日本糖尿病療養指導士認定機構】	3
放射線機器管理士【日本診療放射線技師会】	2	糖尿病教育ファシリテーター【日本糖尿病協会】	2
医療情報技師【日本医療情報学会】	3	熊本地域糖尿病療養指導士 【熊本地域糖尿病療養指導士認定委員会】	26
細胞検査士【日本臨床細胞学会】	4	肝疾患コーディネーター【熊本県】	47
国際細胞検査士【国際細胞学会】	1	HAPPY プログラム使用権取得コース修了 【国立病院機構 肥前精神医療センター】	2
有機溶剤作業主任者技能講習修了 【熊本県労働基準協会】	2	認定心理士【日本心理学会】	1
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 技能講習修了【熊本県労働基準協会】	1	ジャパンハートクラブ認定トレーナー 【ジャパンハートクラブ】	1
認定心電検査技師【日本臨床衛生検査技師会】	1	フットケアセラピスト 【JRFA 日本リラクゼーションフットケア協会】	2
心電図検定1級、2級、3級、4級【日本不整脈心電学会】	9	フードサイエンティスト【食品科学教育協議会】	1
JHRS 認定心電図専門士【日本不整脈心電学会】	1	医療安全管理士【ホスピタリティ・マーケティング協会】	1
植込み型心臓不整脈デバイス認定士 【日本不整脈心電学会】	1	社会福祉士【厚生労働省】	2
血管診療技師 【日本血管外科学会・日本脈管学会・日本静脈学会・日本動脈硬化学会 4学会構成血管診療技師認定機構】	2	第一種衛生管理者【厚生労働省】	14
BLS プロバイダー・ACLS プロバイダー【日本ACLS協会】	1	健康運動指導士【健康・体力づくり事業財団】	6
健康経営エキスパートアドバイザー【東京商工会議所】	3	健康運動実践指導者【健康・体力づくり事業財団】	2
診療報酬請求事務能力認定(医科) 【日本医療保険事務協会】	1	特定健診・特定保健指導実践者研修修了 【熊本県・協会けんぽ・栄養士会等】	66
診療情報管理士【日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会・医療研修推進財団】	2	【赤十字】 ・医療対話推進者養成研修修了 2 ・こころのケア指導員 5 ・救急法指導員 8 ・健康生活支援講習指導員 2 ・幼児安全法指導員 2	
院内がん登録実務中級者【国立がん研究センター】	1		
医師事務作業補助者実務能力認定試験合格者 【全国医療福祉教育協会】	1		



■ 施設認定 (令和 7 年 4 月現在)

認定年月	認定機関	認定内容
平成 7 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肺がん一次検診機関
平成 7 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	胃がん精密検査機関
平成 10 年 10 月	一般社団法人日本消化器がん検診学会	認定指導施設
平成 17 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肝臓病認定医支援機関
平成 22 年 5 月	一般社団法人日本脳ドック学会	脳ドック施設
平成 24 年 4 月	公益社団法人日本産業衛生学会	日本産業衛生学会研修施設
平成 25 年 4 月	公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会 一般社団法人日本総合健診医学会	人間ドック健診研修施設
平成 25 年 6 月	日本乳がん検診精度管理中央機構	マンモグラフィ検診施設画像認定
令和 4 年 9 月	熊本県	熊本県 SDGs 登録事業者(第 3 期)



医療機器・検診車等

■ 医療機器等（施設内）（令和7年4月現在）

医療機器等	台数	医療機器等	台数
MRI診断装置	1	超音波診断装置	15
マルチスライスCT装置	1	骨 X 線測定装置	1
乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィ）	2	上部消化管ビデオスコープ（胃カメラ）	26
胃部 X 線撮影装置	5	下部消化管ビデオスコープ（大腸ファイバー）	19
胸部 X 線撮影装置	2	AED	7

■ 検診車等（令和7年4月現在）

検診車	台数
胃部X線検診車	3
胸部X線検診車	3
超音波検診車	8
マンモグラフィ検診車	2
子宮がん検診車	1
骨密度検診車	1
AED	5



事業実績

■ 事業実績（令和6年度）

	総 数	内 訳	
人間ドック	29,225 人	2 日ドック	3,376 人
		1 日ドック	25,849 人
健康診断	115,446 人	施設内	41,081 人
		施設外	74,365 人
健康支援	10,973 件	健康増進事業 (職員派遣 等)	220 件
		産業保健サポート	1,012 件
		特定保健指導	9,741 件
外来診療	5,647 人		
優友クラブ (個人会員制度)	会員数 1,297 人		

■ 人間ドック(オプション含む)（令和6年度）

検査項目	件 数	検査項目	件 数
頭部MRI+MRA 検査	2,538	マンモグラフィ検査	8,115
胸部CT検査	3,105	乳房超音波検査	8,524
上部消化管内視鏡検査	19,684	腹部超音波検査	29,218
上部消化管 X 線検査	6,923	頸動脈超音波検査	4,155
胸部 X 線検査	29,153	甲状腺超音波検査	4,372
子宮頸がん検査	7,509	大腸内視鏡検査	5,999

■ 健康診断(オプション、セレクト健診含む)（令和6年度）

検査項目	件 数		検査項目	件 数	
	施設内	施設外		施設内	施設外
頭部MRI+MRA 検査	89		マンモグラフィ検査	8,065	9,436
胸部CT検査	460		乳房超音波検査	6,484	12,149
胃部 X 線検査	11,937	7,236	腹部超音波検査	8,094	28,292
胸部 X 線検査	33,224	37,550	頸動脈超音波検査	147	610
子宮頸がん検査	8,092	7,836	甲状腺超音波検査	504	3,686



日赤熊本健康管理センターのこだわり

お客様の視点で満足度を追求

最新の医療機器や新しい検査項目を導入し、質の高い医療の提供を目指し実施しています。人間ドックは専門職が個人にあったコースやオプションのアドバイスをを行い、必要な項目・充実した内容になるようご相談に応じています。

また、多様化する社会に対応し、すべての皆様が安心かつ快適に受診していただけるよう常にお客様の視点で環境整備に取り組んでいます。

検査精度の追求と、疾病の早期発見を目指して

健診で重要なことは、徹底した精度管理と疾病の早期発見です。検査ごとに、毎年数カ所の外部精度管理調査へ参加し、県内トップクラスの評価を得るとともにその高い水準を維持できるよう尽力しています。

また、撮影した画像の判定には、撮影技術・読影技術の双方が非常に重要となるため、ガイドラインを遵守した撮影と二重読影を徹底し、必要な場合は、三次判定を実施します。技術向上・最新の情報収集のため、学会参加及び発表を積極的に行い、外部講師による勉強会や画像検討会も開催しています。上記取り組みに加え、複数の検査を組み合わせたオプション検査を設定するなど、精度向上を図り疾病の早期発見を目指しています。

団体のトータルサポートに対応

各団体のご事情やご要望に配慮した人間ドック・健診等の計画をご提案しています。

また、人間ドックや健診を実施するだけでなく、昨今の健康経営への意識の高まりに応じて、団体毎に健康課題を明確にし、団体の取り組みをサポートしています。

健診データの豊富な蓄積

健診業務では、個人の過去5年間のデータを判定・面談に活用しています。

さらに、1987年(昭和62年)からの豊富な健診データの蓄積により、統計調査や疫学研究・学会発表で活用するなど、予防医療の発展に寄与しています。

フォロー体制の充実

人間ドックや健康診断後の継続的な健康づくりのため、外来部門では、必要な再検査が実施できるように再検査外来を設置しています。さらに、精密検査が必要な方には、速やかな受診につながるため、受診当日に専門医療機関への予約調整を行っています。このような取り組み等を通して、専門医療機関及びかかりつけ医との医療連携体制の強化に努めるとともに、人間ドック等受診後のフォローを定期的に行っています。

また、特定保健指導、健康セミナーなどをはじめとした健康増進・生活習慣改善のための健康支援事業を、団体のご希望に応じて実施しています。

新たな期待に応える姿勢

これまでに培った経験や知識・データを活かし健康社会の実現に関する課題解決を目的として、大学や行政などと連携し研究事業を行っています。

また、県内の健診機関との連絡・協議を行い情報共有することで、必要とされる質の高い健診・健康支援に寄与することを目指しています。

ICT 技術の活用

ICT 技術を活用するため積極的に検討を行うとともに、各種事業に導入しています。それにより、受診環境の向上・基幹システムの機能強化・人為的ミスの防止等に取り組んでおり、今後も活用を推進してまいります。



日本赤十字社 組織概要 (令和6年4月現在)

- 本社 日本赤十字社
 - ・住所 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
 - ・設立 1877 年(明治 10 年) 博愛社設立
1887 年(明治 20 年) 日本赤十字社に改称
1952 年(昭和 27 年) 日本赤十字社法制定
 - ・名誉総裁・名誉副総裁
名誉総裁 皇后陛下
名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
常陸宮殿下・同妃華子殿下
三笠宮妃百合子殿下
寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃久子殿下
 - ・代表者 社長 清家 篤
 - ・日本赤十字社会計 (令和6年度当初予算)
一般会計 本社 178 億 4 千万円 支部 190 億 1 千万円
医療施設特別会計 1 兆 2,159 億 6 千万円
血液事業特別会計 1,625 億 1 千万円
社会福祉施設特別会計 160 億 8 千万円
 - ・施設・職員数 (令和6年4月1日現在)
419 施設 67,526 人 (医療事業 115 施設、職員数 59,301 人)
 - ・日本赤十字社の事業
1.国際活動 2.救護活動 3.医療事業 4.看護師等養成事業
5.血液事業 6.社会福祉事業 7.救急法等の講習
8.赤十字活動とボランティア
 - ・ホームページ
<https://www.jrc.or.jp/>
- 支部 日本赤十字社熊本県支部
 - ・支部長 木村 敬 (令和6年4月16日～)
- 施設 熊本赤十字病院
熊本県赤十字血液センター
日本赤十字社熊本健康管理センター

